

『出前授業・蒔がり体験～東海市大田町地内～』

水土里ネット愛知用水

平成27年4月18日（土）、東海市の蒔生産者である小野直之氏のハウスにて「蒔がり体験」が開催され、地元の東海市太田小学校の児童と保護者90名が参加しました。

この「蒔がり体験」は今年で13年目となり、水土里ネット愛知用水の出前授業は平成20年から今年で8回目となります。



前授業の様子



蒔刈いの様子

職員による出前授業では、愛知用水の水はどこからきているのか、また愛知用水の水が東海市に来るまでどのような苦労があったかをパネルを用いて説明を行い、参加した子供たちも元気よく返事をしてくれていたり、興味深く聞いていました。

そして、主催の小野さんから愛知用水がなければここまで蒔が大きくすることはできない等の説明をして頂き、その後蒔がりの説明を行った後、参加者全員が一斉に蒔がりを行いました。みなさん一生懸命蒔がりを行っており、楽しんでいました。



アンケートの様子

収穫後、参加者にアンケートを実施したところ、「水の大切さを再認識しました」、「愛知用水についてよくわかりました」、「わかりやすいパネルでとてもよかった」等の感想をいただきました。